

# 教員・教育担当者養成課程 看護コース カリキュラム

## 1 本コースの位置付け

本コースは、神奈川県が厚生労働省の認定を受けて実施している「専任教員養成講習会」です。修了後には看護師等養成所の専任教員の要件を得ることができ、同時に保健師・助産師・看護師の実習指導者としても認められます。専任教員を目指す人はもとより、病院の現任教育担当者や実習指導者など、看護教育の分野で活躍できる人材の育成に必要な人間理解を基盤とした幅広い知識や技術を学ぶことができます。

また、新たに科目履修制度を設けたことにより、既に専任教員の要件を満たしている方や、大学教員も必要に応じて学ぶことができます。

## 2 本コースの特徴

本コースでは、看護教員となるために必要な教育方法や看護教育課程等を学び、看護教育実習において授業の実践を行います。

- (1) 通学による対面授業は演習時間を多く取り入れ、お互いのディスカッションを通して、学習内容の理解を深めます。
- (2) 少人数のグループで取り組む演習の科目を複数設け、さまざまな経験をしてきた学習者同士が学び合う環境づくりをしています。本コースの担当者が、科目ごとの学びがつながるように支援し、学習者の個別の学習過程に伴走する形での指導を行います。
- (3) 「授業デザインの6つの構成要素」に取り組み、構成要素間の関連性を大切にしながら授業案を作ります。未経験でも取り組めるように、支援していきます。
- (4) リフレクションによって授業の場で起きていたことを確かめ、自らの経験から学ぶことを目指します。
- (5) 本コースでは、自らの学習スタイルに合わせ、学び方を選ぶことのできる科目を設定しています。
- (6) 看護基礎教育における令和4年度からの新カリキュラムに対応した学習内容となっています。

### 3 科目区分・日程等

#### (1) 科目区分

必修科目：卒業するために必ず履修しなければならない科目

選択科目：卒業要件とは関わりなく、選択する科目です。

#### (2) 必修科目（715時間）・日程（予定）

	必修科目	選択科目
eラーニング履修 2科目の場合	通学：685時間 eラーニング：30時間	75時間
eラーニング履修 4科目の場合	通学：655時間 eラーニング：60時間	
授業時期	4月下旬～12月 (4月下旬開講、10月中旬～11月：看護教育実習中心)	5月～2月

#### 4 カリキュラムの概要

##### 【教育目的】

看護教育に必要な知識・技術を習得し、広い視野と豊かな人間性を養い、看護教育に貢献できる人材を育成する。

##### 【教育目標】

- 1 看護教育の概念及び実践の過程を明確にし、効果的な教育活動を展開できる。
- 2 人間の本質に対する認識を深め、主体的に人間関係を展開できる。
- 3 看護の概念を明確にし、自己の看護観を言語化していく中で看護を伝える力を培うことができる。
- 4 看護教育における研究の必要性を理解し、教育実践の中で研究的態度がとれる。

##### 【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名	時間	単位	内容	ねらい
基礎分野 (必修)	ヒューマンサービス論	20	1	・ヒューマンサービスの理念 ・哲学 ・生命倫理学 ・ケアの本質	保健・医療・福祉の連携と総合化の基本理念を学び、人間を全体(総体)として捉えるケアの本質について考える。
	人間関係論	15	1	・人間関係論 ・アサーティブコミュニケーション	ひととかかわることをとおして他者との相互性について考える。
	★教育原理	15	1	※「eラーニング設定科目の教育内容・担当講師」一覧表を参照ください。	
	教育方法	15	1	・教育方法について ・授業のしくみとはたらき ・教材の研究と理解 ・ねがいと授業目標の明確化 ・授業デザインと授業研究など	授業のしくみとはたらきについて理解し、授業をデザインする具体的方法を学ぶことで、教育実践の本質を考える。
	☆教育心理	15	1	・人間の発達と教育の課程における心理 ・現代若者の特徴	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本的知識および必要な理論を学ぶ
	☆教育評価	15	1	・教育評価とは何か ・学生を評価する ・教員を評価する ・産育組織を評価する ・創造的な教育評価を実践する	教育における評価の概念をとらえ直し、教育実践と評価の関係を考察する。
	★情報通信技術	15	1	※「eラーニング設定科目の教育内容・担当講師」一覧表を参照ください。	
小計		110	7		

・科目名の★印はeラーニングによる履修科目、☆印はeラーニングによる履修が選択可能な科目です。

分野	科目名	時間	単位	内容	ねらい
専門分野 (必修)	看護論	15	1	・看護原論 ・人間関係的看護論	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、これまでの実践における経験を振り返り意味づける。
	看護論演習	30	1	・看護倫理 ・看護理論の活用 ・看護実践と看護理論	看護における倫理、看護理論について理解を深め、看護実践への活用について学び、実践してきた看護を言語化することをとおして自己の看護観を再考する。
	看護教育論	15	1	・看護教育を学ぶ自己の課題 ・看護教育を考える	看護教育のあり方について考え、自己の看護教育観をはぐくむ。
	看護教育制度論	15	1	・保健医療福祉の動向 ・看護教育制度 ・生涯教育	看護教育制度の変遷と現在の教育制度について理解する。
	看護教育課程論	45	3	・看護教育課程概論 ・看護基礎教育の教育課程	看護教育課程の基本的な考え方を学び、看護教育課程編成並びに看護学全体の構造を理解する。
	看護教育課程演習	60	2	・看護教育課程編成のプロセス ・各看護学領域における主要概念 ・教育目標・教育内容	看護教育課程編成のプロセスを学び、看護教育の展開に役立てる。
	看護教育方法	90	6	・看護教育方法(概論) ・成人学習論 ・看護学生の理解 ・学生指導・教育相談 ・講義法 ・演習 ・臨地実習指導 ・授業研究 ・現任教員計画 ・アクティブラーニング ・ICTの活用	看護職に必要な能力を育成するための看護教育方法について学び、考える。
	看護教育方法演習	90	3	・授業デザインの作成 ・マイクロティーチング ・ロールプレイリフレクション ・アクティブラーニングの実際(TBL、シミュレーション教育)	看護教育方法及び看護教育方法演習の学習内容とその関連を理解し、看護教育を実践していく手立てを学び、看護教育の展開に役立てる。
	専門領域別看護論演習	60	2	・授業デザインの検討 ・看護の統合と実践(演習)	看護教育実習において担当する各看護学についての教育目標、教育方法について理解し、授業デザインを学ぶ。看護の統合と実践について、演習案の検討を通して授業展開方法の理解に役立てる。
	看護教育実習	90	2	・学習指導案作成 ・講義法による授業とリフレクション ・臨地実習指導	実習校での教育活動を通し、教員としての基本姿勢や教育方法について学ぶ
	看護教育評価Ⅰ	15	Ⅰ	・看護教育評価概論	看護教育における評価の方法とプロセスを学び、効果的な看護教育を考える。
看護教育評価Ⅱ	15	1	・担当授業の授業評価	自身の行った授業を評価するプロセスと方法を学ぶ。	

分野	科目名	時間	単位	内容	ねらい
専門分野 (必修)	看護教育評価演習	30	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護技術における評価規準と評価基準の作成</li> <li>看護技術の評価方法</li> </ul>	看護技術における評価のプロセスを学び、看護教育の展開に役立てることができる。
	看護学校組織運営論	20	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューマンサービスのためのマネジメント論</li> <li>看護師養成校におけるマネジメント</li> <li>基礎教育と臨床との連携</li> </ul>	看護学校管理、看護学校運営の意義と方法、及び関連法規を理解し、教員としての役割である看護学校組織運営のあり方を学ぶ。
	看護研究概論	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究倫理</li> <li>研究デザイン</li> <li>質的研究 調査研究 文献検索 文献クリティーク 事例研究</li> <li>文献検索演習</li> </ul>	看護研究に取り組む上での基本的な知識を学ぶ。
小計		605	27		
必修合計		715	34	※うちeラーニング必修科目2単位30時間	

分野	科目名	時間	単位	内容	ねらい
選択科目	現任教育計画演習	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任教育計画作成</li> </ul>	現任教育計画の立案を通して、現任教育担当者としての基礎的能力を身に付ける
	看護研究計画演習	45	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書作成</li> <li>研究のプレゼン・抄録作成方法</li> <li>研究計画発表</li> </ul>	看護研究に取り組むプロセス（リサーチクエストの明確化から研究計画書完成まで）を体験することで研究的態度を培う。
	論理学	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>認識原論</li> <li>表象的認識</li> <li>概念化をめぐって</li> <li>認識三論</li> </ul>	認識の三段階連関理論を学び、論理的に思考する能力を高める。
小計		75	4		
必修・選択合計		790	37		

e ラーニング設定科目の教育内容・担当講師 <厚生労働省資料による>

(令和2年10月改定)

分野	科目名	時間	単位	内容	担当講師
基礎分野	情報通信技術	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 活用の目的</li> <li>教育における ICT</li> <li>看護現場における ICT</li> <li>情報管理と情報倫理</li> <li>効果的なデータ処理</li> <li>LMS の学校運営への活用</li> </ul>	東京有明医療大学 看護学部 教授 前田 樹海
	教育原理	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育」及び「教育」概念の原理的理解</li> <li>教育課程論</li> <li>教育制度の理論及びその現代的課題の理解</li> </ul>	秋田大学 教育文化学部 学校教育課程 こども発達コース 准教授 細川 和仁  宮城大学 看護学群 准教授 山岸 利次
	教育心理	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習</li> <li>発達</li> <li>認知過程</li> <li>学習指導</li> </ul>	東京福祉大学大学院 教授 太田 信夫
	教育評価	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育評価の基本概念</li> <li>教育の目的と評価の役割</li> <li>教育成果の測定・評価方法</li> <li>教育活動自体の評価</li> </ul>	東京都立大学 大学教育センター 教授 松田 岳士

下線科目は全員履修科目、その他は選択可能科目